

正規科目のプロデュース・サポート

目的・経緯

センター事業の柱の一つにボランティア・NPOに関する教育プログラムへの支援がある。この目的を果たすために2002年に「国際NGO論」を経済学部において開講するための働きかけをおこない、冬季集中講義（2単位）科目として承認された。

「国際NGO論」は、①国際協力と経済開発の知識を学ぶ、②国際市民協力活動への興味を深め、学習のモチベーションを高める、③参加型授業、当センターとの協力など新しい教育方法を試みる、ことを目的として国際NGOより講師を招き、チェーン・レクチャーおよびフィールドワークを実施し、その運営に当センターが協力するものである。特にワークショップについては、当センターの学生スタッフがファシリテーターを務めるというユニークな運営をしている。

2003年には、「国際NGO論」（冬季集中講義、2単位）に加え、「市民活動論」（夏季集中講義、2単位）もプロデュースすることになった。「市民活動論」は、「国際NGO論」同様、外部講師のチェーンレクチャーおよびワークショップ形式の授業であり、特に問題解決に向けての資料検討、討論参加、解決策の作成に受講生全員が関わるユニークな形式を採用している。なお、いずれも科目設置主体は、経済学部であるが、この年から他学部学生も受講できるようになった。

2004年は、半期開講（2単位）プラス集中講義（2単位）と拡充、「国際NGO論Ⅰ、Ⅱ」（計4単位）「ボランティア・NPO活動論Ⅰ、Ⅱ」（計4単位）として開講されることとなった。

なお、2004年夏の大学執行部の集中審議において、当センターが提案した、年間80時間以上のボランティア活動を組み込んだ本格的サービスラーニング科目「ボランティア・NPO活動入門（社会参加実習）」の開設が承認され、2005年度から共通開講科目（通年、4単位）として開講されることとなった。

1. 国際NGO論

概要

国際社会の状況、課題の現状把握、課題解決に向けてのODA、国連、NGOの取り組み、スタンスの異なるODA—NGOの連携のあり方、それらの日本社会の経済構造への影響、そして日本に求められている国際協力の課題、「地球市民益」等を考察するための基礎的な知識を学ぶ。

龍谷大学ボランティア・NPO活動センターとの協力により、授業で得た知識を応用して、個人の気づきから行動の過程の中から生きた知識を修習する。そのことにより具体的に社会変革のバランス感覚を学ぶ。

各分野の国際NGOに所属する専門家による講師陣が担当、テーマを設定したワークショップ、映像（ビデオ、パワーポイント等）、文化を理解するための情報（異文化の衣食住）、

グループディスカッションを取り入れて参加型講義を実施する。なお、講義全体コーディネーターは関西NGO協議会の榛木恵子事務局長が担当する。

(2004年度「国際NGO論」シラバスより)

進め方

受講者を10名程度のグループに分け、講師の指導により具体的問題を想定して、解決の方策を検討し、発表する。課題は、当該NGOの活動に即して出題される。グループワークをファシリテートするために、NPOセンターのコーディネーター（安藤智子）に指導された学生スタッフが議論に参加する。

受講対象・人数

経済学部、および法学部の2回生以上 70名

単位・開講期

「国際NGO論Ⅰ」（後期開講）2単位、「国際NGO論Ⅱ」（冬季集中講義）2単位

年間スケジュールと講師・講義テーマ

「国際NGO論Ⅰ」

- ・第1回 「NGO概論Ⅰ」 関西NGO協議会事務局長 榛木 恵子さん
- ・第2回 「NGO概論Ⅱ」 関西NGO協議会事務局長 榛木 恵子さん
NGOとは、ODAとは、NGOの歴史、NGOの活動状況（分野・事業・対象国など）、NGOの組織（財源・スタッフ）
- ・第3回 「フィリピンの農村開発の現状」
共生社会をめざす地球市民の会（ACCE） 森脇 祐一さん
フィリピンにおける大きな所得格差、大土地所有制度の厳存、都市部のインフォーマルセクター、対外関係、ACCEの活動プロジェクトなど
- ・第4回 「学生の海外スタディツアー報告」 コメンテーター 森脇 祐一さん
当センターの「ボランティアリーダー育成事業」で実施している海外スタディツアーに参加した学生スタッフの報告と討論
- ・第5回 「黄色い大地に森を育てる」 緑の地球ネットワーク 東 貴子さん
中国の急速な砂漠化の現状と貧困の関係を明らかにしながら、緑の地球ネットワークの緑化協力活動の紹介と課題を述べる。
- ・第6回 「インド 経済・政治 貧困 思想」 アジア協会アジア友の会 大麻 豊さん
インドの工業化に伴う歪み、ODAの現状、アジア協会アジア友の会のプロジェクト、水に関するインド的思想
- ・第7回 「草の根の人々に学ぶ・ネパール」
アジアボランティアセンター（AVC） 山本 愛さん
貧困・カースト・ジェンダーと闘う女性、ネパール女性のエンパワーメントのプロセス、AVCのプロジェクトなど
- ・第8回 「ジェンダー 国際的な取り組みの変遷とグローバルな運動の展開」
AMネット 三輪 敦子さん
世界女性会議、北京行動綱領、グローバリゼーションが女性に与える影響、女

性差別撤廃条約を活用する女性たち

- ・ 第9回 「食糧・飢餓問題を考える」 日本国際飢餓対策機構 西本 玲子さん
穀物自給率、あやうい日本の食生活、大量に捨てられる食料、飢餓にあえぐ世界の子供たち
- ・ 第10回 「災害緊急支援」 CODE海外災害援助市民センター 斉藤 容子さん
阪神大震災の経験、途上国における災害救援、災害と貧困の悪循環、イラン大地震支援について、緊急救援ワークショップ
- ・ 第11回 「マーシャル諸島の核汚染」 アジアボランティアセンター 間野 千里さん
アメリカの水爆実験場としてのマーシャル諸島、賠償金に依存する地域、ベーシック・ヒューマンニーズ、地球温暖化、
- ・ 第12回 「一通の手紙から考える、世界の人権～貴方にもすぐできる国際協力」
アムネスティ 大場 智美さん
ビデオとJunior Urgent Action Letter（人権侵害状況を伝え、アピールを要請する手紙）を教材に使い、世界各地で人権侵害にあっている若者に現状を知らせ、グループワークを通じて理解を高める

「国際NGO論Ⅱ」（集中講義）

第1日目2～5講時

- ① グローバリゼーション(特) (貧困) ② グローバリゼーション(監)
- ③ ワークショップ「貿易ゲーム」 ④ 「貿易ゲームの振り返り」
- AMネット 神田 浩史さん NGO大学貿易チーム 浜本 裕子さん

第2日目2～5講時

- ① 紛争復興支援と平和構築Ⅰ ② 紛争復興支援と平和構築Ⅱ
- ③ 紛争復興支援と平和構築Ⅲ ④ グループディスカッション
- 日本国際飢餓対策機構 清家 弘久さん

第3日目2～5講時

- ① NGOの役割 ② アジアの草の根ワーカーの育成
- ③ 目指す社会は？—社会を変える力— ④ グループディスカッション
- 財団法人PHD協会 藤野 達也さん

2. ボランティアNPO活動論Ⅰ、Ⅱ

概要

「ボランティア・NPO活動論Ⅰ」は、ボランティア団体やNPOと、その活動に参加する人々の現状と課題について基礎的な事柄を学ぶ。主に関西にある非営利・非政府組織についてゲスト講師や文献資料から現状を知り、社会で果たしている役割や今後の可能性について考える。

コース修了時には、ボランティアやNPOが地域で果たしている役割について理解でき、ボランティアのコーディネートができる程度の技術を身につけることを目標とする。

「ボランティア・NPO活動論Ⅱ」は、NPOの組織運営について基礎的なことを学び、実際に社会の課題に非営利・非政府の立場で取り組むことを想定した事業計画を作成する。

なお、授業は参加型の形態で、グループワーク中心に展開する。

なお、講義全体のコーディネートは多文化共生センターの田村太郎代表が担当する。

進め方

授業はグループワークを中心に行う。ゲスト講師陣の選定についても受講生の参画を求める。グループワークの進行についてはNPOセンターの学生スタッフがファシリテーターを務める。夏期集中講義では様々な分野のNPO・NGOでフィールドワークを行う。フィールドワークについてはNPOセンターのコーディネーター（安藤 智子）が担当し、NPOセンター学生スタッフが引率を行う。

受講対象・人数

経済学部・法学部・経営学部の2回生以上、70人

単位・開講期

「ボランティア・NPO活動論Ⅰ」（前期開講）2単位、

「ボランティア・NPO活動論Ⅱ」（夏季集中講義）2単位

年間スケジュールと講師・講義テーマ

「ボランティア・NPO活動論Ⅰ」

第1回 コースオリエンテーション（多文化共生センター代表 田村 太郎さん）

第2回 関心による受講生のグループ分けとリサーチ準備（同上）

第3回 グループ発表の例示とグループごとの発表準備（同上）

第4回 グループ発表Ⅰー1（テーマごとのボランティア活動事例紹介）（同上）

第5回 グループ発表Ⅰー2（同上）

第6回 ゲストスピーカーによる実体験の共有

第7回 ゲストスピーカーによる実体験の共有

第8回 ゲストスピーカーによる実体験の共有

第9回 グループの再編成とリサーチ準備

第10回 グループ発表Ⅱー1

第11回 グループ発表Ⅱー2

第12回 全体振り返りと「ボランティア」イメージの再共有

「ボランティア・NPO活動論Ⅱ」（夏期集中講義）

第1日目 2～4 講時 事業計画の基礎

第2日目 2～4 講時 フィールドワーク（NPOセンターの学生スタッフが引率する）

第3日目 2～4 講時 事業計画の作成

第4日目 2～4 講時 作成した事業計画と相互評価